

事例 NO.10		
事業の種類	道路・街路	
環境配慮の概要	「人にも自然にもやさしく」をコンセプトにしたエコロードとしての整備	
事業名	一般国道108号 鬼首道路	
事業主体	国土交通省東北地方建設局湯沢河川国道事務所	
実施場所	宮城県玉造郡鳴子町鬼首～秋田県雄勝郡雄勝町	
実施期間	昭和57年～平成8年	
事業概要	全体事業費	約40,000百万円
	施工区間等	宮城県玉造郡鳴子町鬼首字軍沢～秋田県雄勝郡雄勝町秋の宮
	事業の目的・経緯等	既設道が冬季の積雪で約半年間通行不能になることから、年間を通して安全に通行できる道路として計画された。この地域はブナ林が広がり、国の特別天然記念物カモシカが生息するなど野生生物にとって貴重な生息空間となっているとともに、栗駒国定公園区域となっていることから、できるだけ自然への影響を少なくすることを目的としたエコロードとして整備された。
環境配慮の内容	<p>工法等</p> <p>(1) 配慮の対象とした環境要素 動植物，水生生物，景観</p> <p>(2) 環境配慮の内容</p> <p>[植物]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事中は樹木伐採を抑えるためのケーブルによる資材・機械運搬を実施</li> <li>・ トンネルと橋梁の多いルートを採用することで，地形改変を抑制</li> <li>・ 盛土，切土部分にはブナ，ミズナラ等を寄植え</li> </ul> <p>[動物]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中大型哺乳類を対象とした「けものみち」を1箇所設置</li> <li>・ 動物誘導柵を設置し，ロードキル（道路上での野生生物の死亡事故）を防止</li> <li>・ 側溝には小動物が脱出できるような這い出し側溝を20m間隔で設置</li> <li>・ 照明には昆虫が寄ってこない高圧ナトリウム灯を採用</li> </ul> <p>[水生生物]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トンネル採掘時に湧出する地下水は，魚類の生息環境に影響しないよう土砂を除き放流</li> </ul> <p>[景観]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構造物のデザイン，材質，色彩は周辺環境と調和したものを採用</li> </ul>	
施工後の状況	<p>効果</p> <p>[動物]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「けものみち」では，6種の動物の利用を確認</li> <li>・ 這い出し側溝では，カエル類，ヘビ類の利用を確認</li> </ul>	
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策の効果を把握するためモニタリング調査を実施。結果を管理業務に反映させている。</li> <li>・ 貴重種を移植する場合には移植先の生態系の保全も考慮する必要がある。</li> <li>・ 冬季に柵高が低くなったときの有効性を調査する必要がある。</li> </ul>	

(図面, 写真, 説明)



「この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図を複製し、測量法第29条に基づく複製承認『平8東複, 第441号』を転載したものである。」

【路線図】



【トンネルの採用により切り開く範囲を抑制】



【法面に既存種の苗木を植栽】



【動物横断路を設置】



【スロープ付側溝を設置】

出典

「鬼首エコロードガイドブック」国土交通省東北地方建設局湯沢河川国道事務所 平成10年  
(資料提供同事務所)